

昨年の秋、ユニークな女性スポーツのサークルが誕生しました。東京オリンピック（昭和39年）

に出場した女子選手の集まりで、「東京オリンピック・レディーズ」を総称、TOLと名付けられました。十月十日、東京プリンスホテル（東京・芝）で行われた彼女たちの同窓会が、そのスタートでした。今回は、TOLの事務局長を務める

小野清子さんに、活動内容などをうかがいました。

— 十月の集まりでは、東京オリンピックの女子選手60人のうち、27人もが出席され、びっくりしたんですが、その後の活動は、どうですか。

「当初は、2カ月に1回、代表委員に集まってもらうことにしてたんですが、間があきすぎてしまつので今は1カ月に1回、会合を持っています。

（顔ぶれは竹宇治聡子〓水泳、井上喜久子〓馬術、大和田智子〓フュージング、梶沢聖子〓陸上、渋谷多喜〓体操など）

— 皆さん集まって、何をするのでですか。

「目的は、WSF・Japanと同じです。女性スポーツの振興です。まず私たちにできることは、昔の仲間がもう一度、集まって、まず横のつながりを持つ。青春の一時期を同じ目的に向かって一生懸命やった仲間と会えるというのは、とても素晴らしいことだと思います。

特に女性の場合は、結婚して家庭に入ってしまった

▼東京五輪の期待の星たちも、今はすっかり熟女です（©フォート・キシモト）



オリンピックOGの まとめ役 小野 清子さん

東教大卒。ローマ、東京五輪に体操選手として出場。東京大会では2人のお子さんを持つママさん選手で女子団体銅メダルのメンバー。昭和40年、ご主人（喬氏＝体操金メダリスト、現鹿屋体育大教授）と池上スポーツクラブをスタートさせ市民スポーツ振興に力を入れる。現在、財団法人日本スポーツクラブ協会常任理事、JOC（日本オリンピック委員会）委員などを勤める。

うと、そんな機会はなかなか持てないんです。そして時が経つと、昔の絆はいつの間にか切れてしまふんです」

— 自由に外へ出歩ける男性には、あまり理解できないことでしょうか。

「私たちの仲間だった依田郁子さん（東京オリンピックで日本女子陸上界のホープだった選手〓百十位障害6位）が、一昨年の秋にあんなこと（自殺）になってしまったけれど、もし、TOLのようなサークルがあったとしたら、彼女、自殺なんかしなくて済んだかも知れません。家庭の問題がいろいろあったようだけれど、そんなグチをいい合える昔の仲間がいたら、助けてあげられたんじゃないかと思っています」

— 今年の予定は立ちましたか。

「ええ、10月10日に、今度は東京オリンピックの前のローマ（昭和35年）、メルボルン（31年）の女子選手にも声をかけることにしました。その時までには、会則を整える準備をします。幸い、田島直人さん（ベルリン五輪三段跳び優勝）の奥様（麻夫人〓昭和7年ロス五輪陸上選手）にも、ご協力いただけることになりました」

— それは、心強いことですね。この次は、是非、WSF・Japanとの合同パーティーでも開きましょう。楽しみにしています。